

# Totoya Hokkei (1780–1850)







新沈子深測

浦邊のまゝをいへば海のもの  
みづのまゝをいへば水もの

巳丑屠小豆素

一福樹園子苗

陽春初夢寶船津

三并正真七福神

忽喜藏園十五日

粥兼汁粉砂糖唇

梅をたいりて

冬にうそをいへば月  
あとの八重の梅のちりて

彦吉

七溪筆









楳柳

かゝるもあし

惚れ人まじり

三つら女三つ

官掛せのる

素名

養老舎玉人

つしもよりの岸辺よまゐりの  
手しとけ奈もすねくま柳

日 一 圓 窓

養老  
舎玉  
人



文齋側五行火  
花荷細見合

十  
漢





秀陽亭  
百花

浙川畫也

楊古

幸也

善子風

ハ  
心  
花  
心

伊勢梅



秀陽亭  
百花



あつと云乃  
 とくち盛平  
 咲自  
 唐公と袖乃  
 花の雲凡  
 會笑乃  
 乃列



小正三郎

逸書  
 子  
 漢画





こひね  
誓約の  
宇氣比

古言梯  
大人登壇

森繡亭  
伎馴

地もゆりの  
梅もさあやね  
川竹も  
とまろかたねも  
善はゆき

森林亭  
木守

空のねら  
さあねく  
羽織ささ  
風の梅さ

火の用



小漢



貞 鎌倉志  
松浦製

榎崎の魚板石

宇都宮 下野 榎崎

まきふくやまの榎の  
七行の垣の  
米沢念作

ちりちり  
いさやちりちり

榎崎

春の日のまはる  
いさやちりちり  
あつちりちり  
砂貝つたやき





旋君三番續

吉野



中ノ漢

むの枝よりれん  
あやふも  
よさる  
の  
度東  
江島野  
竜杖園  
梅保



江戸名物  
俊満制

石町唐木屋  
系細工



漢寫

世名

石町唐木屋系細工

自慢

持衣園

音成

玉



船行のちりや

ふ日と夜

海松城

源乃引

由く土佐

〜船名

招月居

千代延

照月乃船中

今月舟をのりて

岸

左京

海原

月下亭



江漢





花の雲月にあな心く風情ありけりし香爐のまゝの空煙  
 ちり玉の光りさうけて山の端に白糸のつらりと釣糸のゆるり  
 釣糸のゆるりに糸のゆるり袖や衣紋も白糸とほきり

彌年垣

真鬼

美和垣

真樽

狂歌堂

真顔



子  
 漢  








